

## 「第3期 Yokosuka e-Sports Scholarship 運用にかかる業務委託」 特記仕様書

### 1-1 Yokosuka e-Sports Project について

横須賀市では令和元年から Yokosuka e-Sports Project を開始し、市内における e スポーツの普及や IT リテラシーの向上、e スポーツにかかわる人々のコミュニティづくりを行ってきた。

また、令和2年から全国の高校生がチャレンジできる e スポーツ大会、YOKOSUKA e-Sports CUP を毎年開催し、新たな人材の発掘や若年層に新たな可能性を開花させる機会を提供してきた。

現在は、e スポーツ事業の立ち上げフェーズから、育成・コミュニティ強化フェーズへと移行するため、すでに関係性のある人材や、大会関係者とのつながりをより強固なものへと育てるとともに、e スポーツを通じた IT リテラシーの向上やコミュニケーション能力の向上などを目的とした教育プロセスを盛り込んだ取り組みを推進している。

### 1-2 業務の目的

横須賀集客促進・魅力発信実行委員会（以下、本委員会）が取り組んできた、「e スポーツの聖地化」を目指す横須賀市の e スポーツ普及・振興施策「Yokosuka e-Sports Project」の一環として、高等学校、高等工科学学校および高等学校卒業資格取得可能なコースを有する専門学校（以下「高等学校等」という。）に在籍する者のうち、特に e スポーツに対して理解が深く、プレイヤーとしての向上心がある者に対し、プロによるコーチングおよび自宅環境の整備を行うことで、有為な人材の育成へとつなげていく。

### 1-3 実現したい将来像

- ・ Yokosuka e-Sports Project を代表する競技力と社会性を兼ね備えたハブとなる人材の育成
- ・ e スポーツをきっかけとした将来の可能性拡大
- ・ 学生と e スポーツ業界の接点創出

## 2 業務の範囲

### （1）全体ディレクション

業務の範囲内で関係者との調整を行い、目的に即した指導計画となるよう調整、進捗管理を行う。

## （２）選抜生の選考

Yokosuka e-Sports Scholarship 第３期生にふさわしい人材の選考を行う。

（選考方法は、実技試験と対面での面接試験を推奨する。）

【参考：選考基準】 ※Yokosuka e-Sports Scholarship 制度実施要綱 第３条より抜粋

奨学制度に応募することができる者(以下「選抜生志望者」という。)は、横須賀市内に在住または市内の高等学校等に在籍する者で、次に掲げる要件を満たすものとする。

①高校１年生・２年生

②メジャーなeスポーツタイトルについて、理解が深く向上心がある者

なお、ここでいうメジャーなタイトルについては、自身の年齢レーティング内、かつ世界大会レベルの大会が行われているタイトルとし、本市大会、stage0、全国高校eスポーツ選手権に採用されているタイトルについては、選考時に優遇するものとする。

③素行善良志操堅固な者

④Yokosuka e-Sports Project 事業への参加やプロモーションなどに、可能な限り協力できる者（認定期間を終了した後も含む）

## （３）講師の手配

本事業の実施に必要な知識を有し、選抜生の要望に添った指導計画の作成、助言等ができる講師（コーチまたはプロeスポーツ選手）を手配する。

## （４）コーチングの実施

「３ 実施内容」の通り、定期的なコーチングを実施する。

## （５）選抜生の実戦機会の提供

YOKOSUKA e-Sports CUPをはじめとしたeスポーツ大会出場など、選抜生や横須賀市の露出拡大につながる実戦機会の情報収集・提供を行う。

## （６）キャリア育成の実施

選抜生のキャリア育成につながる体験（大会視察や職業体験など）を提供する。

## （７）選抜生による発信力・セルフプロモーションの強化

選抜生による定期的な配信活動やSNSでの情報発信など、セルフプロモーションを支援する。

### 3 実施内容

対象	横須賀市在住・在学の <b>高校1年生・2年生</b>
人数	最大5名
コーチング	回数：週1回程度（1～2時間／回） ゲームタイトル：生徒が希望する年齢レーティング内の世界大会レベルの大会が行われているタイトル（本市大会、stage0、全国高校eスポーツ選手権に採用されているタイトルは、選考時に優遇すること） 方法：原則オンライン
キャリア育成	回数：最低1回 内容：選抜生のキャリア支援に効果的かつ選抜生にとって有為なオフライン体験機会の提供
サポート（※1）	選抜生から質問やフォローアップをチャットツール等を活用し手配する。
面談	選抜生の目標と近況について、定期的な面談を行い、把握する。

※1：問い合わせ対応時間については、予算内で実施可能な範囲で設定する。

### 4 スケジュール

令和7年12月～令和8年3月

なお、第3期 Yokosuka e-Sports Scholarship の期間は令和8年11月30日までを予定していますが、本件の契約期間は令和7年度末までの契約とし、令和8年度分（令和8年4月～11月）の業務委託については、別途協議のうえ、新たに再契約することといたします。

### 5 情報の取り扱い

当該契約の履行にあたって本委員会から提供した個人情報を含む全ての情報（以下、個人情報等と呼ぶ）や、作業の中で知り得た個人情報等の取り扱いにおける遵守事項は下記のとおりであるほか、個人情報（特定個人情報を含む）を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）を遵守しなければならない。

- ア 個人情報等の使用及び管理は、厳重かつ適正に行うこと。なお、本業務を適正に遂行するために、臨時職員の雇用又は業務の再委託を実施する場合は、本委員会に書面にて報告し承諾を得るとともに、臨時職員及び、再委託先に対しても、個人情報等の適正な使用及び管理が行われるよう、受託者の責任をもって監督するものとする。
- イ 個人情報等の記録については、システム障害時の復旧用を除き、いかなる形態でも複写及び複製してはならない。

- ウ 個人情報等については、本業務の遂行以外には利用してはならない。また、本業務の遂行に関係のない第三者に対して提供してはならない。
- エ 個人情報等の使用、保管及び搬送にあたっては、善良な管理義務に従い、細心の注意を払って行わなければならない。
- オ 万一、個人情報等の漏洩や流出、使用目的以外の利用が認められた場合は、速やかに本委員会に対して文書で報告するとともに、その後の措置は、本委員会の指示に従わなければならない。また、受託事業者の責に起因する事故により、第三者から本委員会が損害賠償を請求されたことによる係争費用 及び判決により発生した弁償額等は、受託事業者が負担しなければならない。

## 6 その他

- (1) 本業務に係る一切の経費は、全て委託金額に含むこと。
- (2) 受託事業者は、本委員会と事前協議のうえ承諾を得られていれば、第三者への一部業務の再委託は可能とする。
- (3) 仕様書等に定めのない事項または疑義が生じた事項については、受託事業者と本委員会が協議して定めるものとする。